



エリカ類

常緑／低木／木本植物／外来種・園芸品種



科名 ツツジ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い
草本扱い（保証の観点より）

南アフリカ原産種と欧州原産種に大別されるが、品種により開花期、花色、耐寒性などが異なる。小さく可憐な花を枝いっぱいにつけるのが特徴の低木。中でも、ケープ地方原産のジャノメエリカは大型に育つ代表品種で、黒い瞳の様な雄しべを蛇の目に見立てたのが名の由来。



Memo

別名「ヒース」とも呼ばれる。「ヒース」はヨーロッパの荒野を差し、小説などにも登場する。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期		(品種により異なる)											
果 実		(花後、花殻を除去し美観を保つ)											
紅 葉													
施 肥		(多肥は避け液肥程度がよい)											
剪 定		(花後、刈り込んで低くまとめる)											

好みの環境			
日 当 り	陽	○ ○	陰
土 壌	乾	○	湿
寒 さ		品種による	
暑 さ		品種による	
潮 風	強	○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○					

ポイント

南アフリカ原産種は寒さに弱く、欧州原産種は寒さに強いが暑さに弱い。どちらも酸性土壌を好み過湿を嫌う点は同じツツジ科の植物と共通する。化成肥料を施すとよく花をつけるが、多肥は禁物。

剪定

エリカの中では大きくなるジャノメエリカは、2 m程に生長するため支柱を添える。低く保つには花後に刈り込む。その他の品種も花後に整姿するとよい。

病虫害

病虫害は少ないが、環境が合わないと衰退し病害や虫害を受けやすくなる。好みの環境は、日当たりと風通しのよい痩せた酸性土壌であり、苦手な環境は、乾燥、過湿、多肥である。